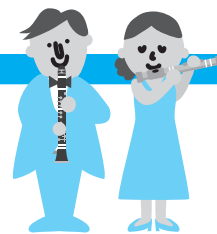
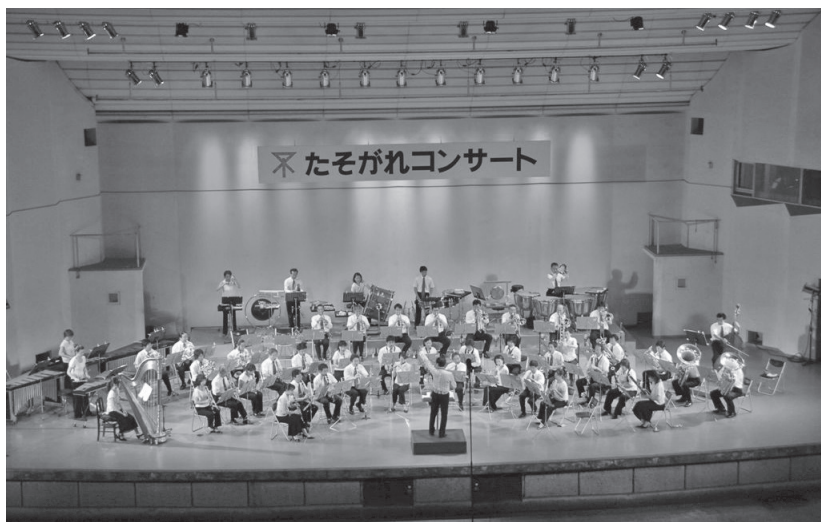




うちのイチ押し!



# たそがれコンサート2019



7・8月の毎週金曜日、夏の宵のひとときに、大阪市立中・高等学校の吹奏楽部、陸・海上・航空自衛隊音楽隊、警察音楽隊、オオサカシオンウインドオーケストラ等によるクラシックやポピュラー音楽などを存分にお楽しみいただく入場無料のコンサートです。夏の夕べのひとときを心地よい音楽でおくつろぎください。

日時

7月5日～8月30日

全9回

までの毎週金曜日 18:30～20:00

場所 大阪城音楽堂(大阪メトロ「森ノ宮」、JR「森ノ宮」)

定員 各回3,000人 費用 無料

お問い合わせ Shion 公益社団法人大阪市音楽団  
0800-919-5508 (http://shion.jp/)



## おおさか歴史探訪 135

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 東住吉区に残る行基ゆかりの地

— 矢田富田町・矢田部町墓地の行基墓 —

行基(668～749)という、奈良時代に僧侶として仏教を広め、民衆の救済活動や土木事業などさまざまな活動をし、初めて大僧正となった人として知られています。昨年は生誕1350年の年でした。東住吉区公園南矢田の隣り合った二つの共同墓地にその墓とされるものが残されています。

行基の墓というと奈良県生駒市の竹林寺にあるものが確認されています。それでは矢田になぜ墓があるのでしょうか。二つの墓地には行基の名が彫られた石碑が一つずつあり、富田町墓地のものはやや新しいものですが、もう一方の矢田部町墓地のものは「南無行基大菩薩」等の碑文があって、江戸時代中頃に行基の一千忌にあたってこの地域で活動していた聖の人たちが建てたことがわかります。これらは本当の墓というより、行基を顕彰し供養するために後に建てられたものといえるでしょう。

また、この地域では他にも行基ゆかりのものがあります。今では埋められてしまいましたが、かつて行基池と言われる池が残っており、大和川をはさんだ南側には阿麻美許曾神社があって、その境内に「行基菩薩安住之地」の碑が建てられています。そうしたゆかりもあるためか、付近で大和川にかかる橋は「行基大橋」と名付けられ、近くの郵便局の名称にも行基の名が見られます。

古文書の研究からは、この付近での行基その人の足跡ははっきりしないようですが、行基が信仰を集め続けるとともに、顕彰してきた人々の根強い思いが感じられます。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



矢田部墓地の行基菩薩の碑(右側)